

IV 調査結果（中学生調査）

調査結果（中学生調査）では、「男女共同参画に関する中学生の意識・実態調査アンケート」の結果について、図表等を用いた説明をしています。

IV 調査結果（中学生調査）

1. あなたについて

- (1) 性別
- (2) 学年

「女性」が5割台半ば近く、「男性」が4割台半ば近く

F1 性別（○は1つ）・F2 学年（○は1つ）

性別についてみると、「女性」（54.6%）が5割台半ば近く、「男性」（43.3%）が4割台半ば近く、「どちらともいえない」（2.1%）が1割未満となっています。

学年別でみると、「1年生・2年生」は「男性」が「女性」よりも高い一方、「3年生」は「女性」が「男性」よりも高くなっています。

図表1 性別（学年別）

（単位：％）

		n	男性	女性	どちらともいえない
全体		97	43.3	54.6	2.1
学年	1年生・2年生	47	51.1	46.8	2.1
	3年生	49	34.7	63.3	2.0
	無回答	1	100.0	-	-

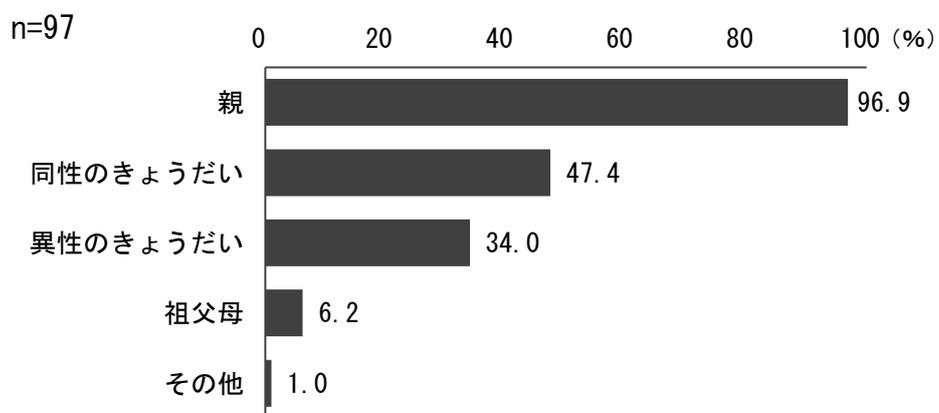
(3) 同居している人

「親」が9割台半ばを超えて最も高い

F3 一緒に暮らしている人 (○はいくつでも)

同居している人についてみると、「親」(96.9%)が9割台半ばを超えて最も高く、次いで「同性のきょうだい」(47.4%)が4割台半ばを超え、「異性のきょうだい」(34.0%)が3割台半ば近くとなっています。

図表2 同居している人



2. 男女平等について

(1) 「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことの有無

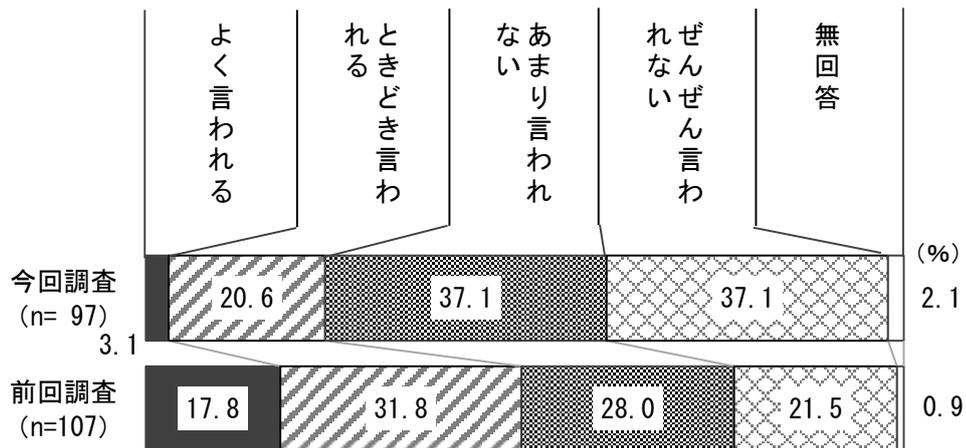
「よく言われる」と「ときどき言われる」を合わせた「言われる」が2割台半ば近く、「あまり言われぬ」と「ぜんぜん言われぬ」を合わせた「言われぬ」が7割台半ば近く

問1 あなたは、おとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(〇は1つ)

おとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことの有無についてみると、「よく言われる」と「ときどき言われる」を合わせた「言われる」(23.7%)が2割台半ば近く、「あまり言われぬ」と「ぜんぜん言われぬ」を合わせた「言われぬ」(74.2%)が7割台半ば近くとなっています。

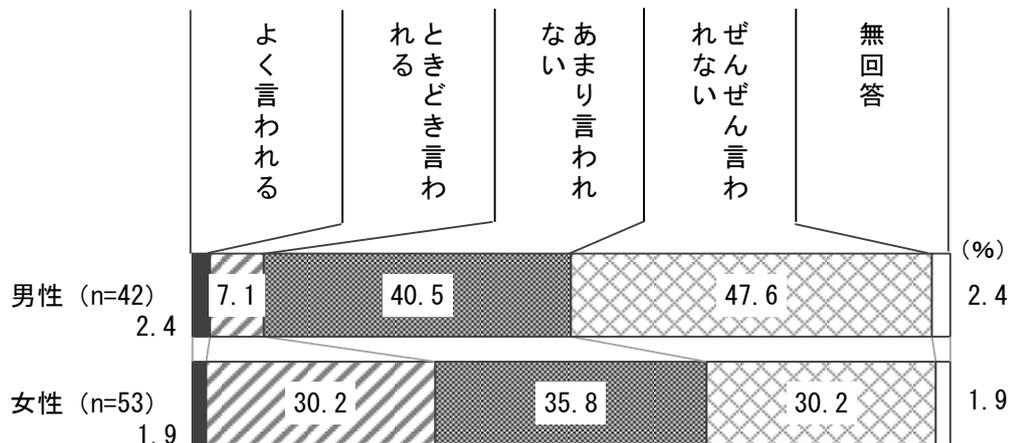
前回調査と比較してみると、「言われる」は25.9ポイント減少している一方、「言われぬ」は24.7ポイント増加しています。

図表3 「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことの有無 (前回調査との比較)



性別でみると、「言われる」は「女性」(32.1%)が「男性」(9.5%)よりも22.6ポイント高くなっています。

図表4 「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことの有無 (性別)



(2) どんな時に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたか

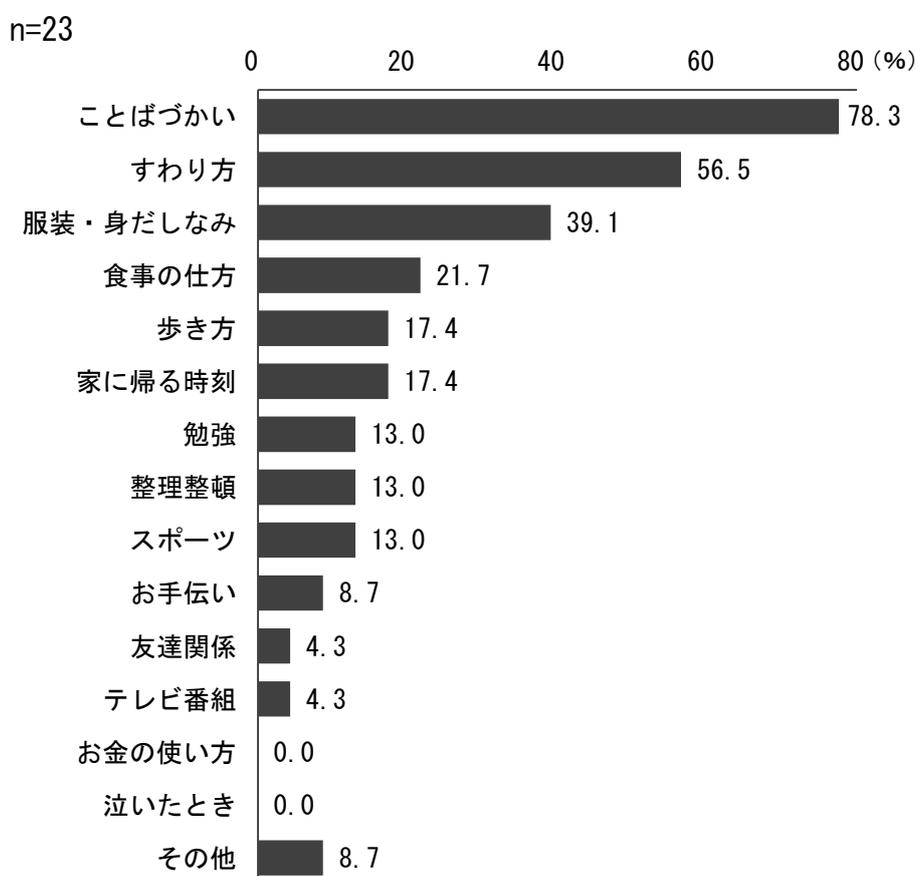
「ことばづかい」が8割近くで最も高い

(問1で「1」か「2」とお答えの方におたずねします)

問1-1 どんな時に言われましたか。(〇はいくつでも)

「問1 あなたはおとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。」で「よく言われる」または「ときどき言われる」と回答した人を対象として、どんな時に言われたかについてみると、「ことばづかい」(78.3%)が8割近くで最も高く、次いで「すわり方」(56.5%)が5割台半ばを超え、「服装・身だしなみ」(39.1%)が4割弱となっています。

図表5 どんな時に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたか



(3) 誰に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたか

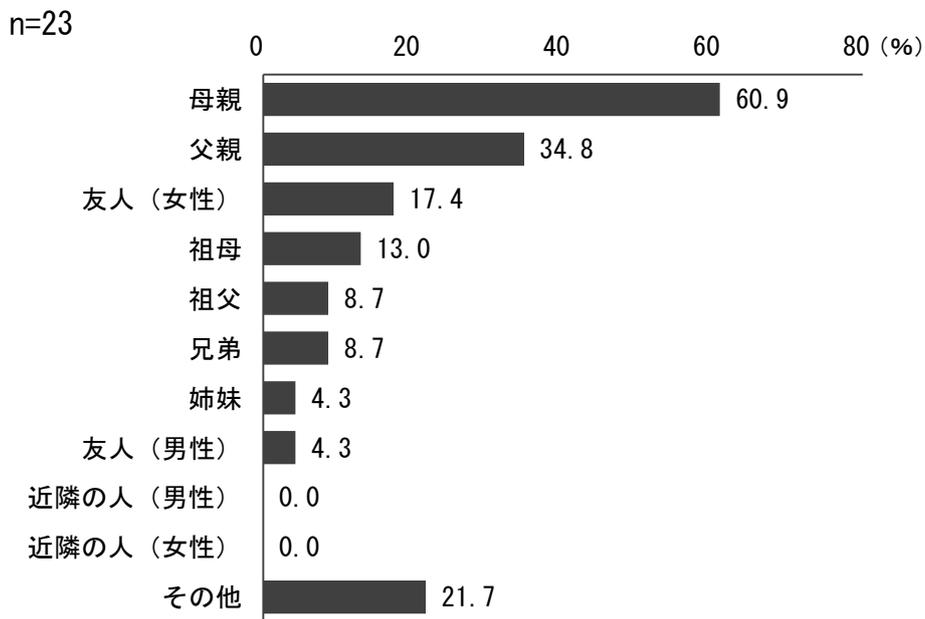
「母親」が6割強で最も高い

(問1で「1」か「2」とお答えの方におたずねします)

問1-2 誰に言われましたか。(〇はいくつでも)

「問1 あなたはおとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。」で「よく言われる」または「ときどき言われる」と回答した人を対象として、誰に言われたかについてみると、「母親」(60.9%)が6割強で最も高く、次いで「父親」(34.8%)が3割台半ば近く、「友人(女性)」(17.4%)が1割台半ばを超えています。

図表6 誰に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたか



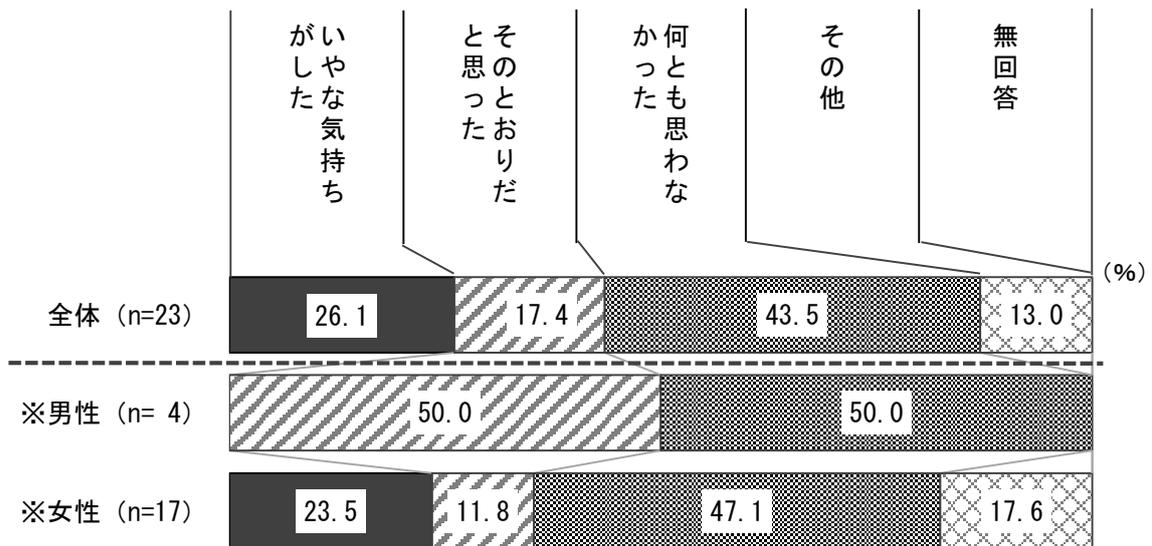
(4) 「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われた時の気持ち

「何とも思わなかった」が4割台半ば近くで最も高く、「いやな気持ちでした」が2割台半ばを超えて続く

(問1で「1」か「2」とお答えの方におたずねします)
 問1-3 あなたはその時どんな気持ちになりましたか。(○は1つ)

「問1 あなたはおとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。」で「よく言われる」または「ときどき言われる」と回答した人を対象として、言われた時の気持ちについてみると、「何とも思わなかった」(43.5%)が4割台半ば近くで最も高く、次いで「いやな気持ちでした」(26.1%)が2割台半ばを超え、「そのとおりで思った」(17.4%)が1割台半ばを超えています。

図表7 「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われた時の気持ち
 (全体、性別)



図表中の※印は基数が少ないため、参考として記載

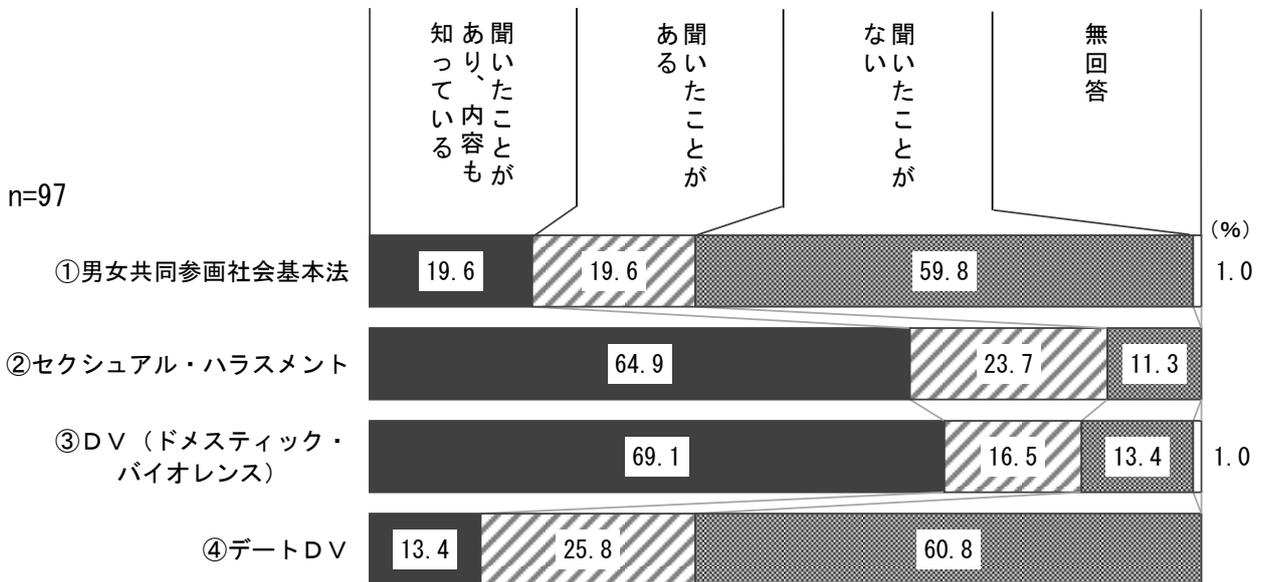
(5) 男女共同参画に関する言葉の認知度

「聞いたことがあり、内容も知っている」は「DV（ドメスティック・バイオレンス）」が7割弱で最も高く、「セクシュアル・ハラスメント」が6割台半ば近くで続く

問2 男女共同参画に関する以下のような言葉について、これまで聞いたことがありますか。
(○は各1つ)

男女共同参画に関する言葉の認知度についてみると、「聞いたことがあり、内容も知っている」は「DV（ドメスティック・バイオレンス）」(69.1%)が7割弱で最も高く、次いで「セクシュアル・ハラスメント」(64.9%)が6割台半ば近くとなっています。一方、「聞いたことがない」は「デートDV」(60.8%)が約6割で最も高く、次いで「男女共同参画社会基本法」(59.8%)が6割弱となっています。

図表8 男女共同参画に関する言葉の認知度



(6) 家庭生活・学校教育・社会全体の中で男女の地位が平等になっていると思うか

「平等である」は「学校教育の中で」が8割強、「家庭生活の中で」が6割強

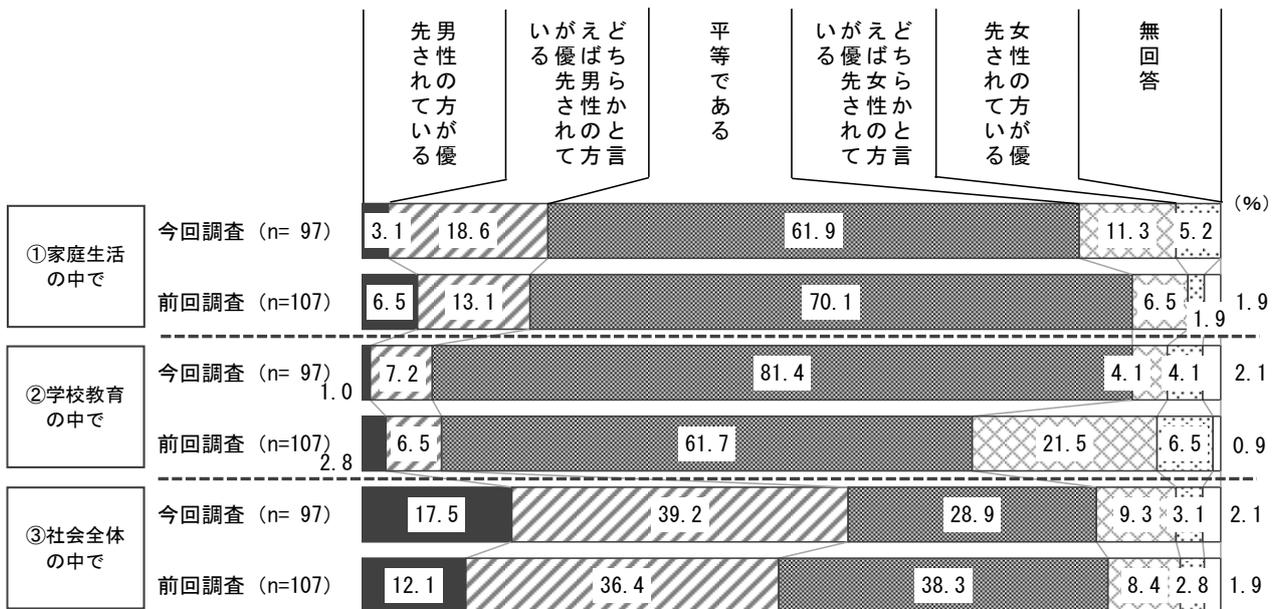
「男性の方が優先されている」と「どちらかと言えば男性の方が優先されている」を合わせた「男性優遇」は「社会全体の中で」が5割台半ばを超えて最も高い

問3 以下の①～③の場面で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○は各1つ)

男女の地位が平等になっているかについてみると、「平等である」は「学校教育の中で」(81.4%)が8割強、「家庭生活の中で」(61.9%)が6割強、「社会全体の中で」(28.9%)が3割近くとなっています。

また、「男性の方が優先されている」と「どちらかと言えば男性の方が優先されている」を合わせた「男性優遇」は、「社会全体の中で」(56.7%)が5割台半ばを超えています。

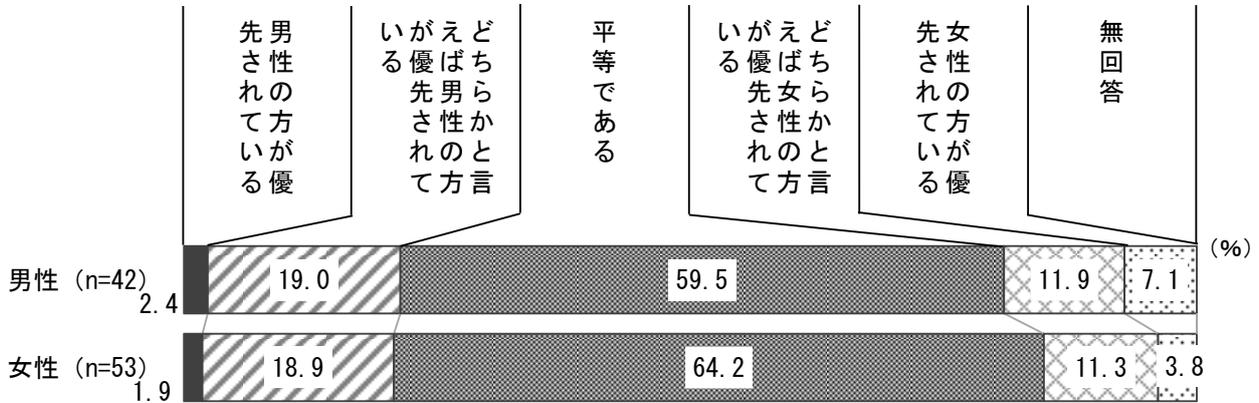
図表9 家庭生活・学校教育・社会全体の中で男女の地位が平等になっていると思うか
(前回調査との比較)



①家庭生活の中で

性別でみると、「平等である」は「男性」(59.5%)が6割弱、「女性」(64.2%)が6割台半ば近くと なっています。

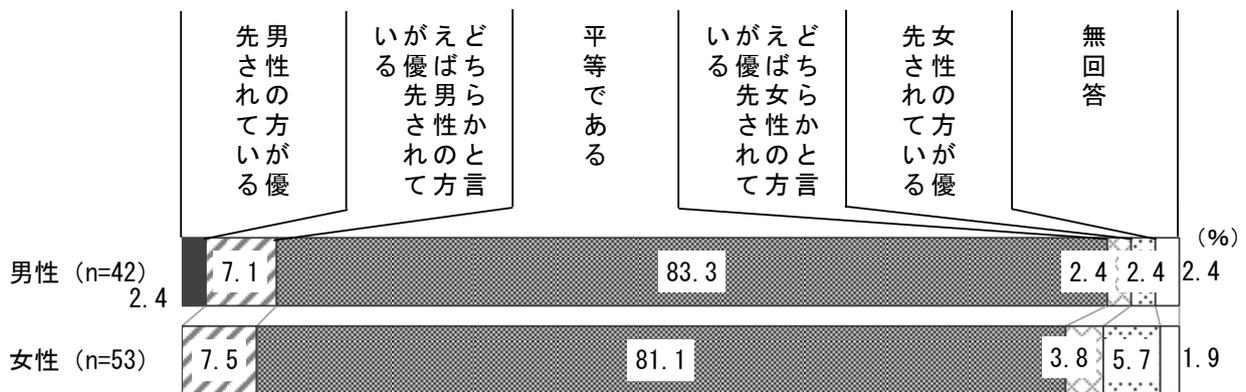
図表10 ①家庭生活の中で男女の地位が平等になっていると思うか(性別)



②学校教育の中で

性別でみると、「平等である」は「男性」(83.3%)が8割台半ば近く、「女性」(81.1%)が8割強と なっています。

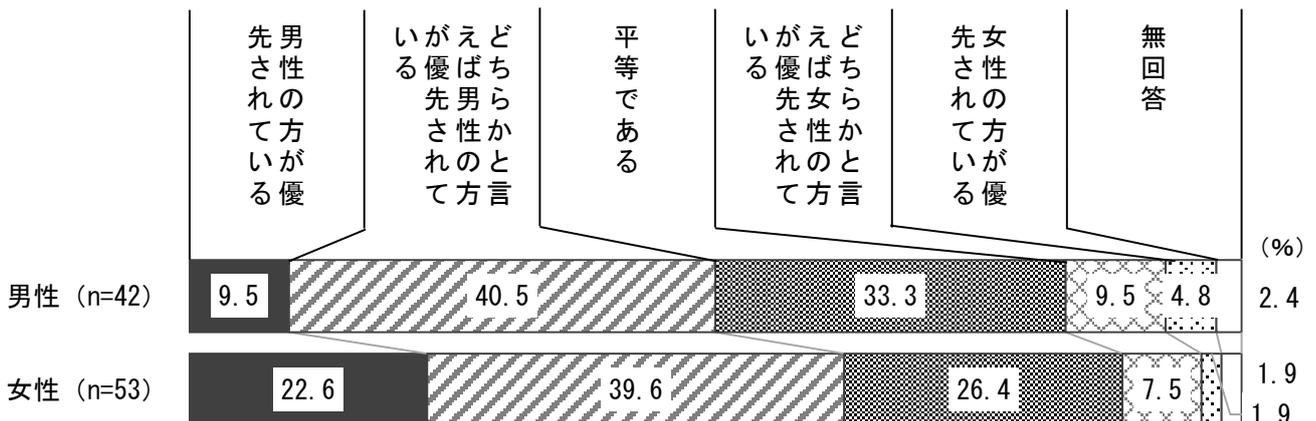
図表11 ②学校教育の中で男女の地位が平等になっていると思うか(性別)



③社会全体の中で

性別でみると、「男性の方が優先されている」と「どちらかと言えば男性の方が優先されている」を合 わせた「男性優遇」は「女性」(62.2%)が「男性」(50.0%)よりも12.2ポイント高くなっています。

図表12 ③社会全体の中で男女の地位が平等になっていると思うか(性別)



(7) 性別役割分担に対する考え

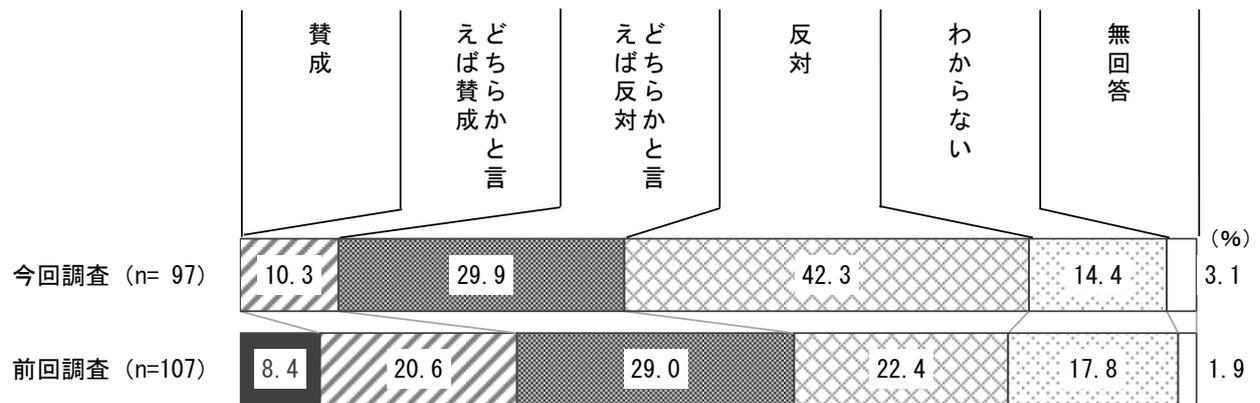
「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた「反対（合計）」が7割強、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた「賛成（合計）」が約1割

問4 あなたは「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどのように思いますか。
(○は1つ)

「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識についてみると、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた「反対（合計）」(72.2%)が7割強、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた「賛成（合計）」(10.3%)が約1割となっています。

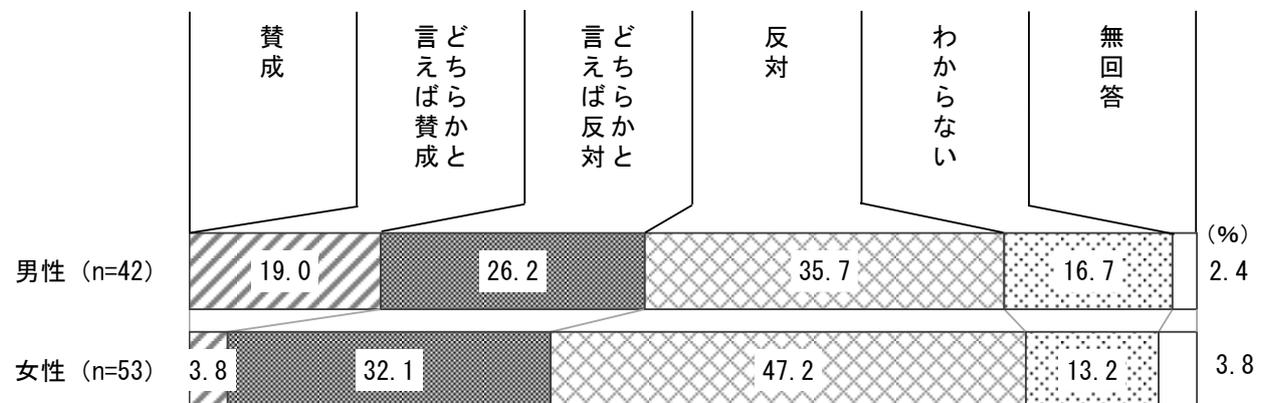
前回調査と比較すると、「反対（合計）」は20.8ポイント増加しています。一方、「賛成（合計）」は18.7ポイント減少しています。

図表13 性別役割分担に対する考え（前回調査との比較）



性別でみると、「反対（合計）」は「女性」(79.3%)が「男性」(61.9%)よりも17.4ポイント高くなっています。

図表14 性別役割分担に対する考え（性別）



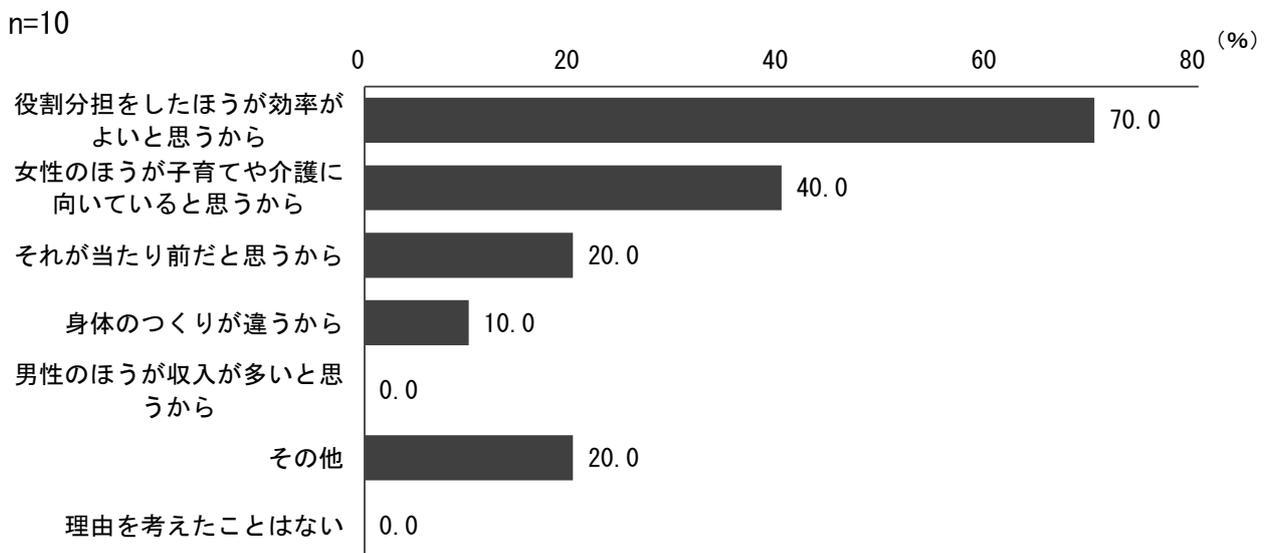
(8) 性別役割分担に賛成する理由

本問については、基数が少なく、標本誤差が大きいいため、参考として記載しています。

問4-1 その理由をお教えてください。(○はいくつでも)
賛成の理由(「1」か「2」に○)

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「賛成」または「どちらかと言えば賛成」と回答した人を対象として、その理由についてみると、「役割分担をしたほうが効率がよいと思うから」(70.0%)が最も高く、次いで「女性のほうが子育てや介護に向いていると思うから」(40.0%)となっています。

図表15 性別役割分担に賛成する理由



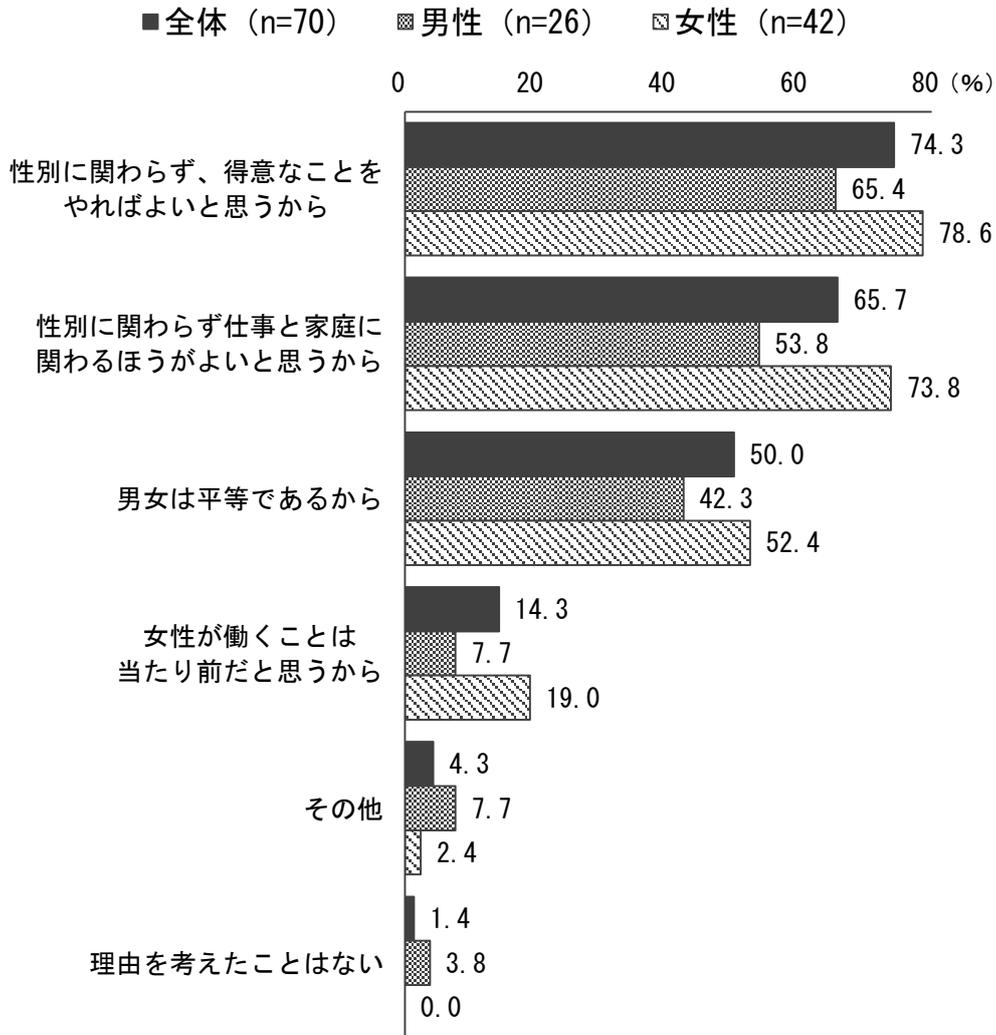
(9) 性別役割分担に反対する理由

「性別に関わらず、得意なことをやればよいと思うから」が7割台半ば近くで最も高く、「性別に関わらず仕事と家庭に関わるほうがよいと思うから」が6割台半ばで続く

問4-1 その理由をお教えてください。(○はいくつでも)
反対の理由(「3」か「4」に○)

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「どちらかと言えば反対」または「反対」と回答した人を対象として、その理由についてみると、「性別に関わらず、得意なことをやればよいと思うから」(74.3%)が7割台半ば近くで最も高く、次いで「性別に関わらず仕事と家庭に関わるほうがよいと思うから」(65.7%)が6割台半ば、「男女は平等であるから」(50.0%)が5割となっています。性別でみると、「男性」「女性」ともに全体と同様の傾向となっています。

図表16 性別役割分担に反対する理由(全体、性別)



(10) 将来の働き方の意向

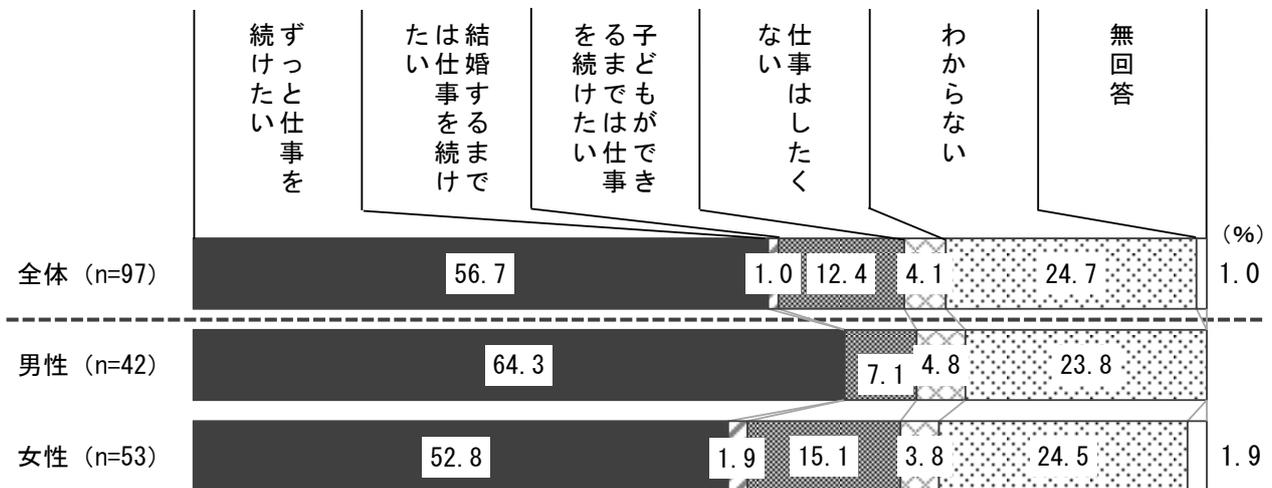
「ずっと仕事を続けたい」が5割台半ばを超えて最も高い

問5 あなたは、将来どのような働き方をしたいか教えてください。(○は1つ)

将来の働き方の意向についてみると、「ずっと仕事を続けたい」(56.7%)が5割台半ばを超えて最も高く、次いで「わからない」(24.7%)が2割台半ば近く、「子どもができるまでは仕事を続けたい」(12.4%)が1割強となっています。

性別でみると、「ずっと仕事を続けたい」は「男性」(64.3%)が「女性」(52.8%)よりも11.5ポイント高くなっています。一方、「子どもができるまでは仕事を続けたい」は「女性」(15.1%)が「男性」(7.1%)よりも8.0ポイント高くなっています。

図表17 将来の働き方の意向 (全体、性別)



3. 男女の人権について

(1) デートDVだと思ふ行為、思わない行為

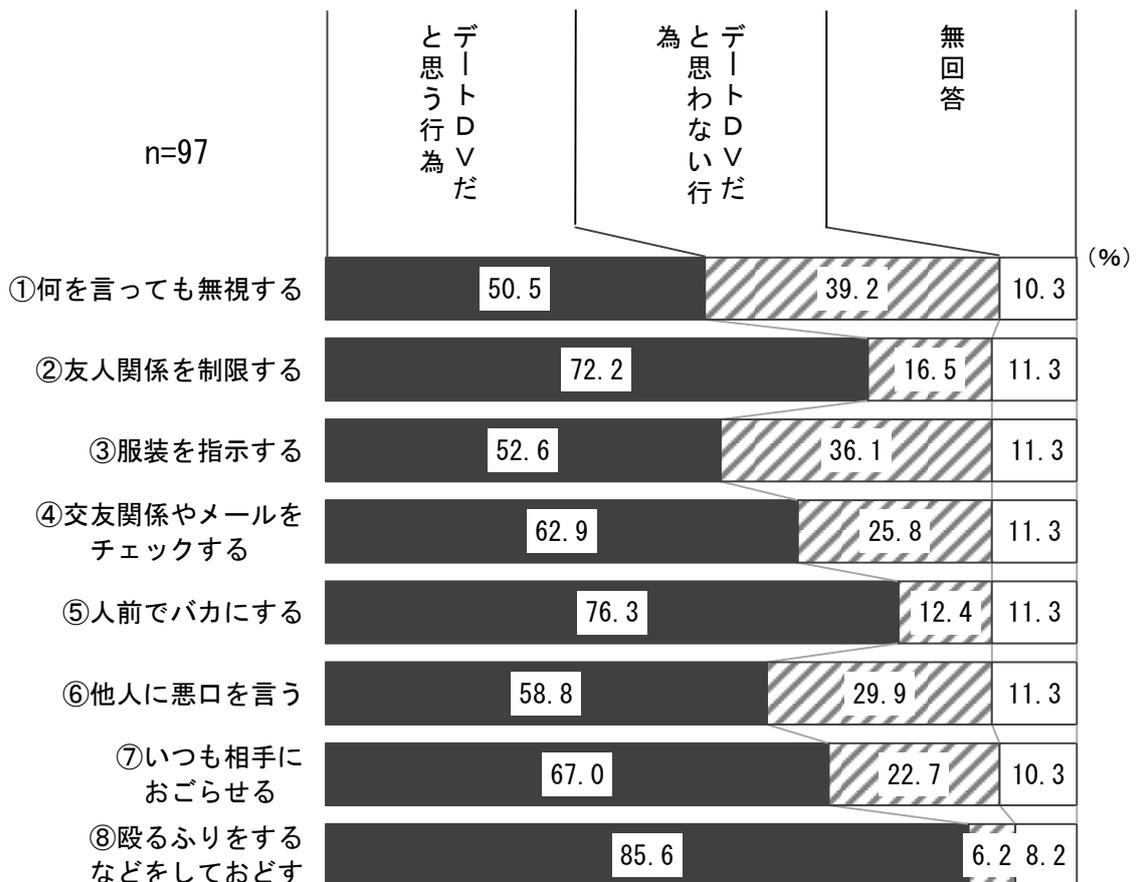
「デートDVだと思ふ行為」は「⑧殴るふりをするなどしておどす」が8割台半ばで最も高く、「⑤人前でバカにする」が7割台半ばを超えて続く

「デートDVだと思わない行為」は「①何を言っても無視する」が4割弱で最も高く、次いで「③服装を指示する」が3割台半ばを超えて続く

問6-1 デートDVについて、以下の①から⑧の行為について当てはまるものがありますか。
(○は各1つ)

デートDVだと思ふ行為、思わない行為についてみると、「デートDVだと思ふ行為」は「⑧殴るふりをするなどしておどす」(85.6%)が8割台半ばで最も高く、次いで「⑤人前でバカにする」(76.3%)が7割台半ばを超え、「②友人関係を制限する」(72.2%)が7割強となっています。一方、「デートDVだと思わない行為」は「①何を言っても無視する」(39.2%)が4割弱で最も高く、次いで「③服装を指示する」(36.1%)が3割台半ばを超え、「⑥他人に悪口を言う」(29.9%)が3割弱となっています。

図表18 デートDVだと思ふ行為、思わない行為



(2) デートDVの経験

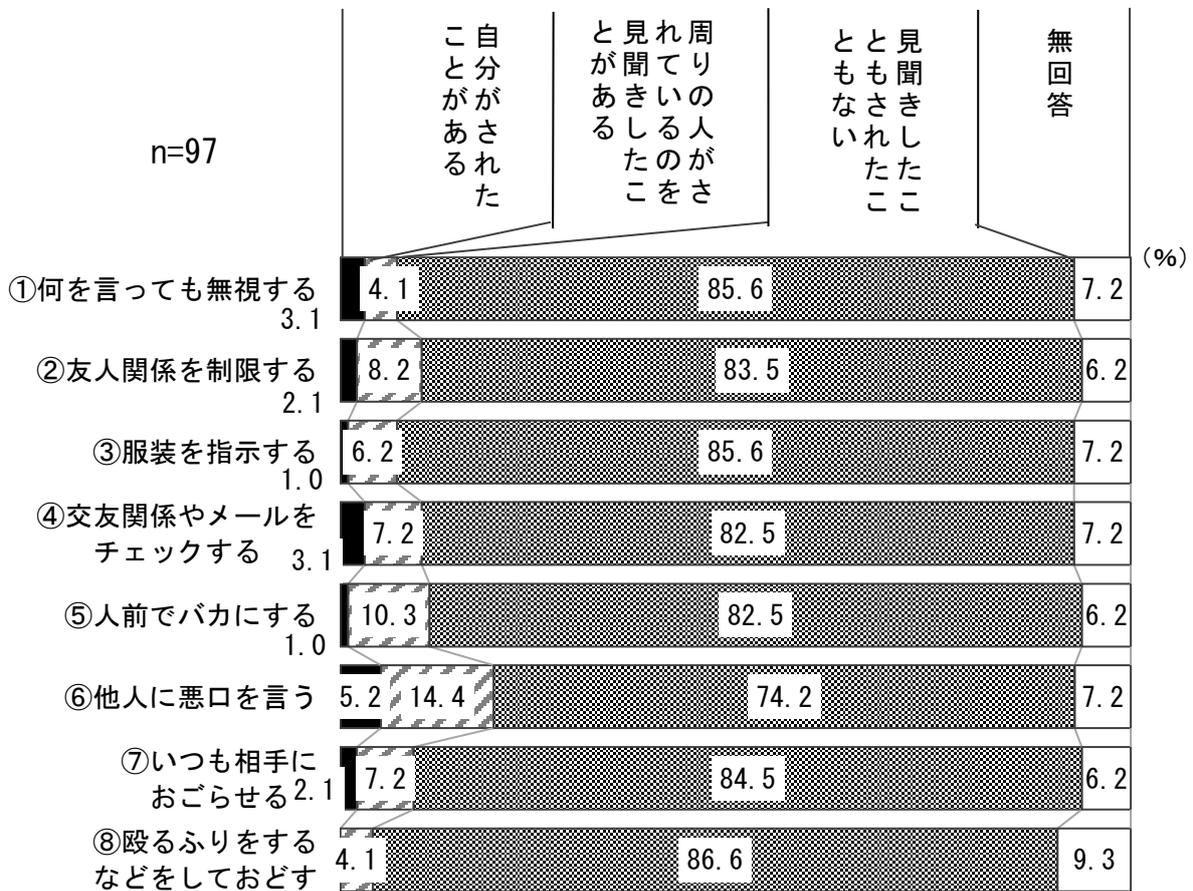
「見聞きしたこともされたこともない」は、「⑥他人に悪口を言う」を除き、8割を超える

「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」は「⑥他人に悪口を言う」が1割台半ば近くで最も高く、「⑤人前でバカにする」が約1割で続く

問6-2 デートDVの経験について教えてください。(〇は2つまで)

デートDVの経験についてみると、「見聞きしたこともされたこともない」は、「⑥他人に悪口を言う」を除き、8割を超えています。「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」は「⑥他人に悪口を言う」(14.4%)が1割台半ば近くで最も高く、次いで「⑤人前でバカにする」(10.3%)が約1割となっています。

図表19 デートDVの経験



(3) 男女共同参画社会の実現のために新宿区が力を入れるべきこと

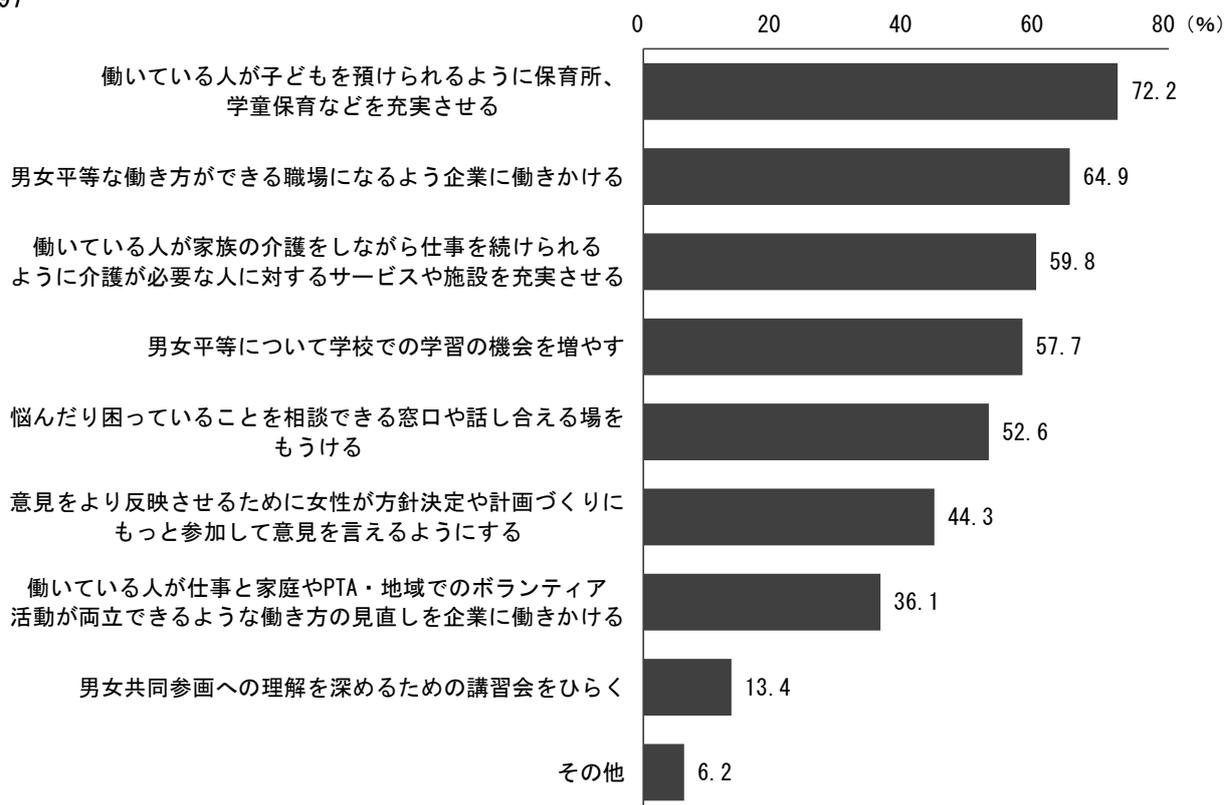
「働いている人が子どもを預けられるように保育所、学童保育などを充実させる」が7割強で最も高く、「男女平等な働き方ができる職場になるよう企業に働きかける」が6割台半ば近くで続く

問7 新宿区では、男だから女だからと決めつけしないで、誰もがその人らしく個性や能力を発揮することができる「男女共同参画社会」の実現を目指しています。これから、区がどのようなことに力を入れて取り組むとよいと思いますか。(○はいくつでも)

男女共同参画社会の実現のために新宿区が力を入れるべきことについてみると、「働いている人が子どもを預けられるように保育所、学童保育などを充実させる」(72.2%)が7割強で最も高く、次いで「男女平等な働き方ができる職場になるよう企業に働きかける」(64.9%)が6割台半ば近く、「働いている人が家族の介護をしながら仕事を続けられるように介護が必要な人に対するサービスや施設を充実させる」(59.8%)が6割弱、「男女平等について学校での学習の機会を増やす」(57.7%)が5割台半ばを超えています。

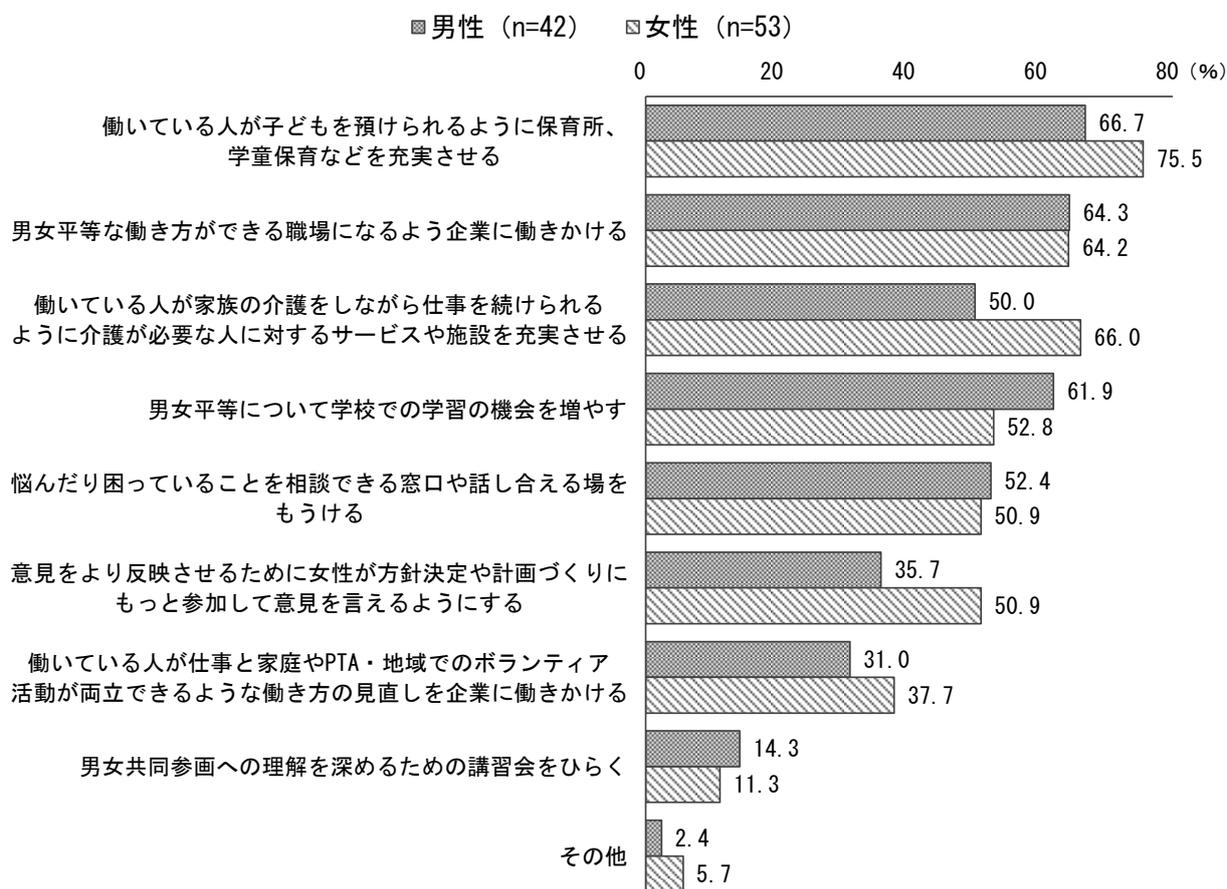
図表20 男女共同参画社会の実現のために新宿区が力を入れるべきこと

n=97



性別でみると、「男性」「女性」とともに「働いている人が子どもを預けられるように保育所、学童保育などを充実させる」が最も高くなっています。次いで「男性」では「男女平等な働き方ができる職場になるよう企業に働きかける」、「女性」では「働いている人が家族の介護をしながら仕事を続けられるように介護が必要な人に対するサービスや施設を充実させる」となっています。

図表21 男女共同参画社会の実現のために新宿区が力を入れるべきこと（性別）



4. 性の多様性について

(1) 「性的マイノリティ (LGBT 等)」の認知度

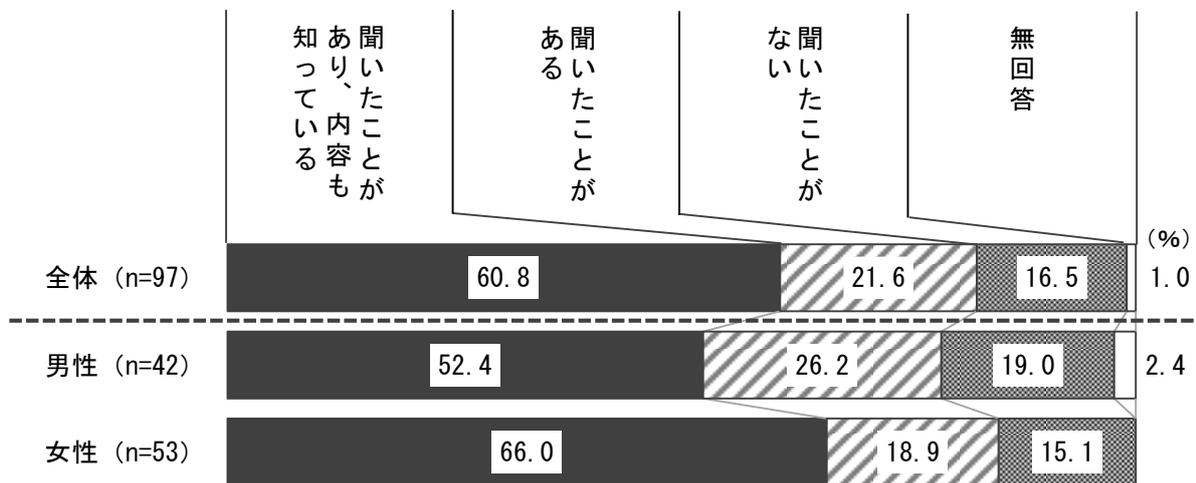
「聞いたことがあり、内容も知っている」と「聞いたことがある」を合わせた「聞いたことがある (合計)」が8割強

問8 あなたは性的マイノリティ (LGBT 等) という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

性的マイノリティ (LGBT 等) という言葉の認知度についてみると、「聞いたことがあり、内容も知っている」と「聞いたことがある」を合わせた「聞いたことがある (合計)」(82.4%) が8割強となっています。

性別でみると、「聞いたことがある (合計)」は「女性」(84.9%) が8割台半ば近く、「男性」(78.6%) が8割近くとなっています。

図表22 性的マイノリティ (LGBT 等) の認知度 (全体、性別)



(2) 周囲に自分の性自認や性的指向について悩んでいる人がいるか

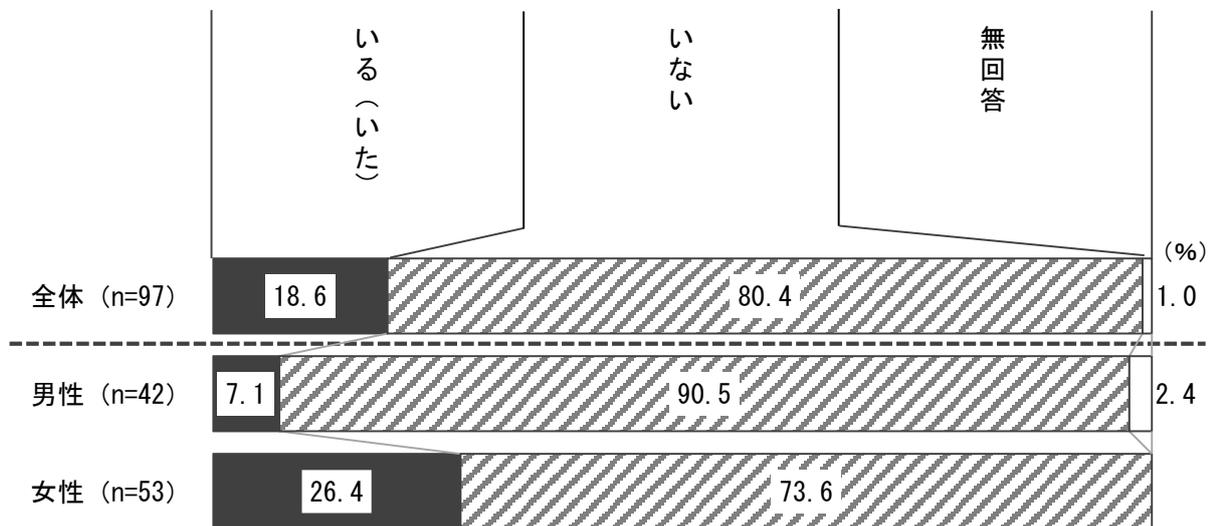
「いる (いた)」が2割近く、「いない」が約8割

問9 あなたの周りに自分の性自認や性的指向 (どのような性別の人を好きになるか) について悩んでいる人はいますか。(〇は1つ)

周りに自分の性自認や性的指向 (どのような性別の人を好きになるか) について悩んでいる人がいるかについてみると、「いる (いた)」(18.6%) が2割近く、「いない」(80.4%) が約8割となっています。

性別でみると、「いる (いた)」は「女性」(26.4%) が「男性」(7.1%) よりも19.3ポイント高くなっています。

図表23 周囲に自分の性自認や性的指向について悩んでいる人がいるか (全体、性別)



(3) 自分の性自認や性的指向について、悩みを打ち明けられたらどのように感じるか

「受け入れることができる」が約7割で最も高い

問10 もし悩みを打ち明けられた場合、どのように感じますか。(〇は1つ)

性自認や性的指向に関する悩みを打ち明けられた場合にどのように感じるかについてみると、「受け入れることができる」(70.1%)が約7割で最も高く、次いで「わからない」(25.8%)が2割台半ばとなっています。

性別でみると、「受け入れることができる」は「女性」(73.6%)が「男性」(64.3%)よりも9.3ポイント高くなっています。

図表24 自分の性自認や性的指向について、悩みを打ち明けられたらどのように感じるか
(全体、性別)

